広報にいつ
発行所 新津市役所
発行人 新津市役所総務企画課
電話 大代表 (2) 2111番
印刷所 東洋館印刷所
毎月一回発行

人口動態

（昭和44年10月1日現在）

人口	57,228
世帯数	12,984

（9月中）

出生	86	死亡	28
婚姻	10	離婚	5
転入	193	転出	167
転居	154	世帯変更	22

条例を制定

都市計画審議会 任期の 教育委 公平委 なども選任

九月十六日から十四日間の会期で開かれていた定例市議会は、十二議案、議員発議案四、請願七件を可決、採択して九月二十九日に終わりました。可決、採択されたおもなものは次のとおりです。

◇新津市都市計画審議会条例の制定

前月号広報で新しい都市計画法の問題点や性格について解説しましたが、その新都市計画法に対応して新津都市計画審議会を設けるための条例が審議されました。

今回の議会で一番活発な論議を呼んだ議案でしたが、原案では審議会の委員数を、議会の議員、行政機関の職員、公共団体の役員、学識経験者など十五人で構成するようになっていましたが、審議した建設委員会では二十人に修正しました。

結局最終本会議でも修正案のとおり委員数は二十人、他の部分は原案どおりにきまりました。

◇畜産センター条例の一部改正

種豚による種付け料の改訂で、十月一日から、いままで市内二千五百円のものが三千五百円に、市外四千円が五千円に改訂されました。

◇婦人相談員設置条例の一部改正

社会福祉行政の一つとして婦人相談員一人が設置されていますが、今回の改正は相談員の報酬月額の改正で、一万六千八百円から一万九千二百円に改められました。

◇昭和四十四年度一般会計補正予算

今回の補正予算は小形で、歳出のおもなものは下水道の管路工事費（組替え）三百六十四万円、中野大久保線用地買収費四百万円、融雪災害復旧費の農業用施設災害復旧費五百万円、八月水害復旧費五百三十万円など総額一千五百六十余万円となっています。

◇人事案件として各種委員会委員の一部任期満了による選任があり、次のとおりきまりました。

・教育委員会委員
秋山利夫氏（本町二）再任

・公平委員会委員
桜井幸三郎氏（本町三）再任

・固定資産評価審査委員会委員
荒木政太郎氏（柄目木）再任
佐藤清之助氏（善道町）再任

・人権よう護委員
真柄慎平氏（柄目木）再任

◇議員発議案

議会は市長の提案する議案のほか、予算を除いては所定の賛成者があれば、議員が議案を提案することができることになっていますが、今回は次の四件が提案、可決されました。

・新津駅に全特急列車停車要請に関する意見書の提出について
・人事院勧告完全実施についての意見書の提出について
・学校給食法の改正を要望する意見書の提出について
・在日朝鮮人の帰国事業に関する意見書の提出について

□採択された請願、陳情

・阿賀小学校前道路舗装
・結小学校体育館便所の改築
・本町一丁目新津線県道および西仲通り線市道側溝全面的改造
・能代川改修促進
・水害対策と市道整備
・ごみしゅう集区域拡大
・金津地域開拓パイロット事業〈八珍柿の集団樹園地〉

最新の設備を誇る浄水場内での竣工式

浄水場竣工式

第五次水道拡張事業（給水人口八万人、一人一日給水量四百五十リットル、一日最大給水量三万六千トンを計画）の第一期工事（給水人口七万人、一人一日給水量四百リットル、一日最大給水量二万五千五百トン）竣工式が、今月三日、新装の浄水場管理本館で行なわれました。

昭和四十二年度に着工総工費六億二千五百万円を要したこの第一期工事は、今年八月に完了、すでに遠隔地、高台など断減水地域での水不足を解消しています。

なお、第二期工事は昭和四十八年から五ヵ年計画で実施される予定です。

住居表示を公示

新市街地形成地域の

当市の住居表示整備事業は昭和三十九年から四ヵ年にわたって実施され、すでに市街地のほとんどを完了しています。

しかしその後新たに新金沢町を中心とした地区や吉岡団地などで市街地形成が進んできたため、昨年、これらの地区の住居表示を計画し、その町割り、新町名などについて、市住居表示審議会（会長秋山利夫氏）に諮問していましたが、去る九月九日、別項のとおり答申が行なわれました。

市ではこの答申に基づいて、十一月一日実施計画を公示、十二月定例市議会に提案、承認を得たうえで来春四月一日から実施する方針です。

なお、市の住居表示実施計画に異議のある関係住民は、十一月三十日までに、五十人以上が署名、理由を付して異議申し立てをすることができます。

◎新しい町割りと新町名答申のあらまし

東町一丁目、大字西金沢の一部（二十五万五千平方メートル）

東町二丁目、大字西金沢の一部（十五万五千平方メートル）

東町三丁目、大字満願寺の一部（十五万二千平方メートル）

新町四丁目、大字西金沢の一部（十一万六千平方メートル）

金沢町四丁目、大字西金沢、柄目木の一部（十万九千平方メートル）

新金沢町、新金沢町の全部、大字柄目木、東金沢の一部（十八万五千平方メートル）

金沢町二丁目（補正分）大字西金沢の一部（二万五千七百平方メートル）

金沢町三丁目（補正分）大字柄目木、大字西金沢の一部（四万五千三百平方メートル）

吉岡町、大字田家の一部（十一万九千平方メートル）

下興野町に補正する住居表示については、池の埋立て等による地域周辺の開発計画が進行中であり、また、県道新津、新潟線の東側に面する堤外地を独立した町構成にしてもらいたいという、住民の強い要望も台頭している現地の実状から、いま直ちに実施することをさけ、地域一帯の開発および家屋の新築状況などの推移を勘案したうえ、実施することが望ましく、当分の間保留すべきであるとしています。

◇

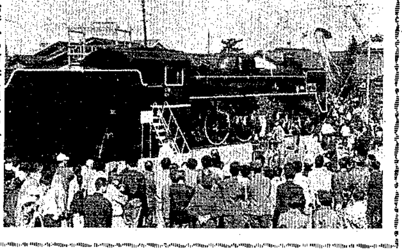
新しい町名、町割り案（図面）は二面に掲載しました。

蒸気機関車 校庭に保存

秋空に名残りの汽笛残して

現役を離れて当市に貸与保存されることになった蒸気機関車、C57―180が、秋晴れの日曜日（十二日）おおぜいの国鉄関係者や市民に見守られながら第一小学校校庭にその雄姿を横たえました。

稼動年数は二十三年この間、実に百六十八万キロを走行、四百五十万人におよぶ乗客輸送の大任を果たしたC57―180は、この日磐越西線から分岐、校庭へふ設された線路を、ゆるくカーブしながら自力で走行、名残りの汽笛をひびかせながら午前十一時、校門寄り校庭の一角に固定されました。



おおぜいの市民に迎えられた一小校庭の蒸気機関車

窪田繁雄氏

動脈硬化性閉塞症のため自宅療養中の元市長窪田繁雄氏（六十七才）が去る九月二十五日、死去されました。

窪田氏は大正十四年の満日村合併以前から、当市が今日の発展を見るまで、町吏員を振り出しに行政に尽力、戦後は議会議員として十年余、市長として二期八年間、直接市政を担当、行政全般にわたり、かずかずの不滅の功績を残し、市勢発展の基礎を確立しました。

また、同時に農協組合長、土地改良区理事長など、多くの要職も兼ね、豊ふな識見とすぐれた手腕で、衆目の期待に応えるなど、廉徳有能な人であっただけに、その逝去が惜しまれています。

文化祭ひらく

▽十一月をいろどる恒例の新津菊花展覧会が一日から十五日まで、堀出神社境内でひらかれます。△
▽また、市内小中学校では文化の日、三日を中心に、児童・生徒の作品展、バザーなどが、各種文化団体の催しものをもりこんで、それぞれ多彩な行事をくりひろげます。△

◎菊花展覧会＝堀出神社境内、一日〜十五日
大菊、小菊、懸がいなど、見応えのある作品数千鉢が研をきそいます。
◎菊花切り花展覧会＝堀出神社境内＝九日
◎新津服装学院生徒作品発表展示会＝一小、二日、三日
◎竜生派花展＝二小、二日、三日
◎サボテン多肉植物展示会＝一小、二日、三日
◎池の坊花展＝一小、二日、三日
◎切手展覧会＝青年研修所、二日、三日
◎六美会書展＝一小、二日、三日
◎青年学級生合作展＝公民館、二日〜四日
◎青年学級生生け花展―公民館、二日〜四日
◎青年主張大会＝公民館、四日午後六時半から
◎第十六回市民川柳大会、第二回柳都文化祭川柳大会＝老人いこいの家、九日
◎市民俳区大会＝老人いこいの家、二十三日
募集俳句＝雑詠五句（一組限り未発表作品）
投句所…市役所内、山口啓介あて、投句締め切り日七日まで（投句は無料）

青年の主張大会

市内の青年たちの合同行事として、また文化祭行事の一環として続けられてきた「新津市青年の主張大会」が、今年から「NHK青年の主張全国コンクール」の地区予選を兼ねてひらかれることになりました。

大会は、青年たちが自分自身の意見をもち、それを正しく表明する技術と能力を養うと同時に、その主張を社会につよく訴えることを目的としてひらかれるものですが、当日は市民各位もお誘い合わせのうえ多数ご来聴ください。

なお、申し込みは三十一日まで、参加資格、発表課題は次のとおりです。

◎参加資格
市内在住勤労青少年で昭和二十九年四月一日までに生まれたもの、性別、学歴、職業は問いません。

◎課題
A 日本人として思うこと
B こんな仕事をささげたい
C わたしの青春
D わが友
E 私の訴えたいこと
F 自由課題

※詳細は公民館（②―〇二〇四）へお問い合わせください。